

旭川市、泉大津市有機農業連携推進協議会 (北海道旭川市、大阪府泉大津市)

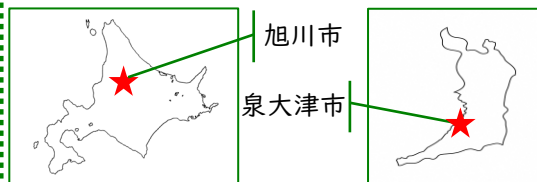
R5補正
R6当初

01

背景・課題

旭川市では、地域ぐるみで有機農業に取り組み、食と農の活性化を図ることで、農家の収入の向上を図るとともに、消費者の多様なニーズに対応できる産地を目指している。

その取組の一環として、旭川市と大阪府泉大津市は、両地域の持続的な発展に向けた農業連携協定を締結。この取組により、農地をほとんど持たない泉大津市では食料の安定的な確保、旭川市では米をはじめとする旭川産有機農産物の安定的な供給先が見込まれるとともに、旭川市内における有機農業への関心の高まりと生産意欲の向上が期待される。



構 成 員

旭川市、泉大津市、JAあさひかわ、JAたいせつ、JA東旭川、JA東神楽

品 目

水稻、トマト、かぼちゃ、ハーブ

成果目標

- 泉大津市学校給食での旭川産有機JAS認証米提供の継続
- 有機農業の取組面積の拡大 令和5年度 36.5ha → 令和10年度 56.5ha
- 有機JAS認証取得者の増 令和5年度 8人 → 令和10年度 11人

主な取組内容

- 泉大津市に旭川産有機米ななつばしを20トン提供し、泉大津市内の学校給食（小・中学校）において計81回にわたり使用。また、プレ万博等各種イベントで、旭川産有機農産物をPR。
- 旭川市において、夜の動物園レストラン等各種イベントで、旭川産有機農産物をPR。
- 泉大津市の親子を対象とした旭川市内での有機農業体験。
- 有機農業実施計画の策定のための検討会を開催。



令和6年7月、生産地である旭川市と、消費地である泉大津市で、全国初の遠隔地連携によるオーガニックビレッジ宣言。



泉大津市内の小学校で旭川産有機農産物を提供。旭川市の生産者も泉大津市を訪問し、消費者（子ども達）と交流。



泉大津市の親子を対象に、有機農業の農場見学会や農業体験を実施。



旭山動物園で有機農産物を使用した夜の動物園レストランを開催。



泉大津市で開催されたプレ万博において、旭川産有機農産物やその加工品を販売。

普及に向けた取組

学校給食以外にも消費を拡大するため、泉大津市との取組をはじめとした一般消費者向けのイベント等を行い、旭川産有機農産物の認知度向上を図る。

農業者を対象に有機農業の先進地視察や研修会等を行い、有機農業への理解を促進し、有機農業の取組者及び取組面積の拡大を図る。

問い合わせ先

旭川市 農政部 農業振興課 TEL:0166-25-7438